

認定特定非営利活動法人 地域福祉を考える会
Society of Study for Community Welfare (略称SSCW)

発行：認定NPO法人 地域福祉を考える会
発行人：理事長 宮森孝史
事務局：〒259-1142

伊勢原市田中256番地の1-301
TEL・FAX 0463-95-6665
メール office@tiikifukusi.com
ホームページ http://tiikifukusi.com/

ニュースレター

★★ 学習サポート みらい・つなぐ ★★ …安心して学び過ごせる場所…



新しい形の「塾」が伊勢原で始まりました。

学習者（子どもたち）は、「塾」と呼び、友だちにも世間にも聞こえがいいようです。

新しさとは、様々な学習のニーズをもった子どもたちに対応する「塾」ということです。昨年9月から始まり半年が経過したところで、現在小4から高校生までが、週2回（水・金）に「市民活動サポートセンター」に通って来ています。中学生は進学に向けて基礎学力の向上を目指しています。支援者（大人）は学生講師が中心で、退職教員数名と有志の英語講師で対応しています。子どもたちは、自分の決めた学習（数学・算数・国語・英語・理科・社会・宿題等）に大変熱心に取り組んでいます。基本はマンツーマンの学習で、学生講師の若さや人間性にふれながら、学習に集中しています。

更に、新しさといえば、「おやつ」がでる「塾」で、世間の塾にはありえないことでしょう。

「おやつ」は、学習へのエネルギーを補給し、支援者と学習者の交流をなごやかにします。子どもたちの心が開かれてこそ、学習にも効果ができると考えています。学習の主体は、子ども。自らが学びたくなり、わからないことがわかり、学習が持続すること。安心して通え、楽しく学べる学習支援「みらい・つなぐ」をめざして活動しています。学習者のニーズを愛情をもってしっかり受け止め、その子の学習意欲を持続させ受験にも対応していきたいと考えています。



学習サポートみらい・つなぐ

コーディネーター 細谷 毅義

<ご寄付のお願いについて>

各活動を継続して運営するために、皆さまの温かいご支援を必要としております。

そのご支援によって、より充実した地域福祉を提供することが出来ます。どうぞ宜しくお願いします。

<寄付振込先>

横浜銀行 伊勢原支店 普通 6116229
特定非営利活動法人地域福祉を考える会

◆お知らせ◆

平成29年度(第13回)総会

日時：5月28日(日) 2時～

場所：シティプラザ1階 ふれあいホール

会員の皆様には後日ご連絡いたします。

いせはら みらいクルイン **こども食堂**



平成 28 年 6 月 23 日から開設しあつという間にこども食堂も 19 回を迎えます。自家栽培野菜・缶詰の物品提供・寄附などなど、調理はボランティアスタッフが協力し、沢山の皆様からのご支援のおかげで豊富なメニューになり大変うれしく思います。

家で一人で食べるよりみんなでワイワイしながら食べられるそんな食堂、そして子どもが一人でも入れる食堂として、これからも皆様のご協力よろしくお願い致します。



6月23日(木)

●カレーライス



7月5日(火)

●肉じゃが



7月21日(木)

●カレーライス



8月8日(月)

●ちらし寿司



8月25日(木)

●カレー味タコライス



9月6日(火)

●三色丼



9月29日(木)

●カレーライス



10月11日(火)

●きのこごはん



10月27日(木)

●カレーライス



11月8日(火)

●サバの味噌煮



11月24日(木)

●カレーライス



12月6日(火)

●ハヤシライス



12月22日(木)

●ハンバーグ・マカロニサラダ



29年1月10日(火)

●カレーライス



1月26日(木)

●からあげ



2月7日(火)

●中華丼



2月23日(木)

●カレーライス



■ 今後の予定 ■

3/30(木)、4/11(火)・27(木)

時間:午後5時半~7時半

場所:だいろくコミュニティー広場 来るいん
(アサヒフラザ1階 奥)

成年後見部会

意思決定支援について (No. 3)

成年後見部会 部会長 勝田 俊一

これまでのNo.1~2では意思決定支援の基本的な考え方について書いてきました。では実際の意思決定にはどのような事例があるのでしょうか？

実際に地域福祉を考える会成年後見部会であった例を簡単に紹介します。

皆さんは知的障がいのある人が「免許を取ること、車を買うこと、運転をすること」についてどう考えますか？『知的障がいがあったら学科試験に受からないのでは？』、『自分でお金を出せるならチャレンジしてみたら？』、『車を買うことを考えると経済的に無理なのでは？』、『事故を起こした時に対応できるのか？』などなどいろいろな考え方があると思います。しかし、現実的にはすでに多くの知的障がいの方々が車の免許を所持しており、実際に車を購入して日常的に運転をしている人もいます。またある地方では公共交通機関がほとんどないため、特別支援学校在学時や卒業時にまずは車の免許に挑戦するそうです。最低でもミニバイク（原動機付自転車）の免許は取るようにしていると聞きました。

<車の免許を取りたいと希望したAさん>

療育手帳を持っているAさんは車好き。勤めている会社も車関係です。以前から車の免許を取りたいと言っていましたが、『免許を取るにはお金もかかるし、取れるかどうかもわからない。どうせ車を買うわけではないし、やめといたほうが良いよ』と言われ半分あきらめていました。

成年後見人が数年かけてじっくりと本人の話を聞き、真面目に働いて貯金も貯まってきたことから、免許の取得に挑戦し、みごと取得することができました。この挑戦も後見人の後押し、周囲への説得などがなければ実現しなかったかも知れません。

免許を取れば車が欲しくなるのは当たり前。今度は車を買いたいという希望が出てきました。さすがに新車という訳にはいかずに中古車を買うことになりました。車を買えば保険や点検、車検、さらには『友達を乗せて出かけた』と様々な希望や課題が出てきます。

このように普通の若者が親や友人などに助けをもらいながら育っていく過程を、成年後見人はある時は親代わり、ある時は友達のように寄り添いながら、ご本人の年齢なりの自己決定、意思決定を丁寧に支援し支えていくのです。

2月28日(火) ミニ研修会開催

定例会にて小田原養護学校連携部 進路支援係の中出口 幹彦氏・松島 悦子氏のお二人を講師としてお越しいただき、「障害児の現状」という題目で将来的に成年後見が必要になる子どもたちの現状を話していただきました。



成年後見制度とは

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分なために、悪徳商法の被害にあうなどの財産侵害を受けたり、人間としての尊厳が損なわれたりすることがないように、法律面や生活面で支援する仕組みです。

無料相談受け付けております

成年後見制度についての説明を望まれる方は当会事務局までご一報ください

電話：95-6665

児童コミュニティクラブだより

28 年度も無事に 4 児童コミュニティクラブの活動をしめくることが出来ます事は、保護者の皆さま、伊勢原小学校・比々多小学校・比々多保育園の先生方、地域の皆さまの見守りによるものと思ひ感謝申し上げます。4 月には新 1 年生 55 名を迎え 4 児コミ合計で 238 名の入所児童を迎えさせていただきます。放課後の安心・安全を考慮した環境の下で 1 年生から 6 年生の子ども達と一緒に過ごし楽しみ沢山の生活体験ができるよう努めたいと思います。29 年度も引き続き児童・支援員への温かい応援をいただけますようお願い申し上げます。

28 年度各児コミの代表を務めていただいた片野代表(伊勢原第 1)、柏木代表(伊勢原第 2)、三輪代表(比々多第 1)、井野口代表(比々多第 2)、そして 4 児コミの支援員の皆さまのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

児童コミュニティクラブ代表 安武 敬子

● 2月のコミの活動 ●

< 節分 >



一緒に!



鬼は外! 福は内!



かわいい鬼ですね



鬼の口めがけて



赤鬼・黄鬼・青鬼



本日のおやつ



チョコフォンデュ

< バレンタインデー >



素敵なセッティング



いただきます!

<比々多公民館祭り>



甘くておいしいね!



何を買おうかな?



<ひな祭り制作>



雛飾り作ろう



集中して!

<3月の予定>

- ◆ ボーリングにお出かけ：伊勢原第1（17日）、伊勢原第2（28日）、比々多第1（27日）、比々多第2（28日）
- ◆ 児コミの29年度入所説明会：24日（金）各児コミにおいて18時30分より
- ★4月は 新入生歓迎会、お花見を予定しています。お楽しみに

支援員全体研修



木下悦子先生

2月24日支援員全体研修を行いました。講師に元伊勢原小学校校長 木下悦子先生をお招きして「児童への対応～事例を通して～」を、グループ討議を含み、お話していただきました。一貫した対応(支援員間+個々の関わりの中で)、子ども達の自尊感情や自己効力感を高める対応等再確認しました。これからのコミでの生活に役立てていきたいと思いました。木下先生、ありがとうございました。

支援員さんからのコメント

- ✓ 大変で困った事例だけでなく、うまくいった事例をも共有することが必要であることも気づかされました。
- ✓ トラブルが起きた時でも、その子のよい点を取りあげ、簡潔にほめることも忘れずに、という言葉が印象に残りました。
- ✓ 個々の児童としっかり向き合い焦らず誠意をもってかかわる努力を続けていきたい。



講演風景



グループ討議



グループ発表



友愛電話活動



友愛電話で思うこと

「今日は寒いですね。膝の具合はいかがですか。」

体調を伺うのを挨拶がわりに、電話を待っていて下さる方との会話が始まる。

話題は、季節の移り変わり、食生活や健康管理、嬉しいことや困ったこと等々。時には時事放談や失敗談も加わって面白い。

10年程前、広報の「友愛電話」に目が止まり、興味を持ったのがきっかけで、このボランティアをさせていただいている。

一人暮らしで、この電話を希望する方と週一回15分程お話をします。

長年に渡る方も多く、お会いしたこともないのに親しみを感じ、お元気な声を聞くと、こちらのトーンも上がってしまう。

以前、弱々しい声で「具合が悪くて」とすぐ電話を切ってしまわれた方が心配で、社協に連絡し、安否を確認してもらったことがあった。見守りになっていることも実感し、心強い。

最近「身体の動くうちにとまって身辺整理始めたんですよ。」「運動免許証の返納を考えてます。」等、身につまされることが多い。かと思うと、「グランドゴルフで優勝カップもらったのよ!」「アメリカへ旅行して、ハイウェイを車で移動しました。」等、羨ましい程お元気な方も、一人暮らしを受入れ、こちらが励まされ、力をもらっている。

鳥取県で独居する高齢の叔母に友愛電話を話すと、「伊勢原はすごいね!一日中テレビばかりで話し相手がいなくて寂しいわ。」と言う。友達もみな先に逝ってしまい、人とのつながりが希薄になった叔母の生きるハリになれたらと時々声を届けている。

他県のことはわからないが、このボランティアが全国に広がることを願っている。

笠原幸代



友愛電話ボランティア 電話でお話してみませんか?

- ◎一人暮らしや日中一人で話し相手がない人
- ◎身体に不自由があり外出など困難な人
- ◎子どもさんの事で話をしたいお母さん

方法:「友愛電話」ボランティアが、週に1度あなたにお電話します。

☆こちらから電話をおかけします。料金はかかりません

電話日:月曜日(10時~12時)

月曜日(午後1時~3時)

木曜日(午後1時半~3時半)のうち1回です

目的:あなたの元気を確認致します。

申込み:(福)伊勢原市社会福祉協議会

Tel 0463-94-9600

「友愛電話を希望」と言って下さい。費用は無料です。

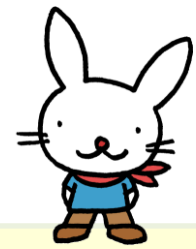
平成28年度(福)伊勢原社市会福祉協議会 会長表彰おめでとうございます。

今回授与されました笠原幸代さん(左)、吉田春代さんです。更なるご活躍に期待しております。



子育てひろば「きらきら」

- ◆活動場所：シティプラザ1階
ふれあいホール
- ◆時間：午前10時～12時
- ◆参加費：一組100円 予約は不要・出入り自由です。
どなたでも参加できます
- ◆29年度開催日（4月～6月分）◆



「きらきら」は、未就園児のお子さんやその保護者のためのスペース。子どもを遊ばせながらのんびりと過ごせます。

★29年度もおともだちを誘って参加してね。お楽しみイベントを計画します。



	火	木	火	木	火	木	火
4月		6	11	13	18		25
5月	2	11	16				
6月		8				29	

1月17日(火)

おはなし会（おはなしバルーンさん）



1月26日(火)

やさしいヨガ体操（山戸浩子さん）



2月7日(火) 子ども食についての工夫（ユーコープさん）



ユーコープの方が嫌いな食べ物の調理法を指導してママたちからの質問に教えてくださいました

<月齢による離乳食の進め方> 中期（7～8カ月）の離乳食

トロトロペースト状の離乳食が飲み込めるようになり、お粥や野菜、白身魚などを合わせて10さじ程度コンスタントに食べられるようになったら、1日2回の離乳食（2回食）に進みます。

この時期からは舌と上あごの間でつぶしてモグモグできるようになるので離乳食のかたさや大きさを少しずつ変えていきましょう。食べられるものも増えるので、2回の離乳食は違うメニューにして、複数の食品を味わう機会を作ってあげましょう。薄く味をつける（大人の4分の1）ことも可能になります。

赤ちゃんは必要な栄養の3分の1を離乳食からとるようになりますが、栄養の主体は引き続き母乳やミルクになります。

Q. 赤ちゃんが食べてくれないのはなぜ？

A. つぶし方や刻み方などの形状が月齢にあっていない、ご飯の前にすでにおっぱいを飲んでいたり、などの理由が考えられます。離乳食の形状や食事の時間を守りましょう。

また、すっぱいものや苦い味を嫌がる場合もありますが、これは動物的本能です。慣れや経験で食べられるようになりますので、徐々に味覚の幅を広げていってあげましょう。



災害はいつ起こるかわかりません◆日頃からの備え(持ち物編)◆

食料より優先的に用意すべきもの。生き延びてこそ備蓄食品が活かされます。

大人のリュックに入れるもの

- ヘルメット
- ヘッドランプ
- (ポケット) ラジオ
- ホイッスル
- 手袋(牛革・豚革)、防刃手袋
- 予備のLEDライト/予備のメガネ/予備の電池
- 食料(調理せずにそのまま食べられるもの)
- 2リットルの水(飲料・傷口消毒・目の洗浄・うがい。火災現場付近を通過する際、髪や衣服を濡らすなど)
- 防寒着/エマージェンシーシート
- 防じんマスク
- トイレットペーパー(ビニール袋にいれて)
- タオル、手ぬぐい
- 三角巾・ポリラップ・生理用ナプキン(止血用)
- 液体せっけん(旅行用)
- 歯ブラシ
- ノート・筆記用具
- 現金10万円
- パスポート
- 保険証

目からウロコ!

震災時のパニック状態では、指の切断くらいでは治療してくれないのが現実! 救急車も呼べず、病院に行っても命に危険がある重症患者さんが優先。子どもの大出血を見てもオロオロせずに、傷口を三角巾やラップできつく縛って血を止めましょう。

人を頼らない! まず自分ですぐできることを行うこと!

現金は10万円! 停電になったら、ATMもクレジットカードも使えません。被災地から脱出するにはお金が必要です。

子どもを守るための地震防災マニュアル「わが子の命を守るのはあなた。」
(発行: 烏山地区町会・自治会連合会/監修: 減災・防犯アドバイザー 菊池顕太郎) より

子ども食堂へのご支援 ありがとうございました

◆食材提供者◆ (敬称略)
1月~2月

佐野た香(三ノ宮)・鳥海裕一(上平間)
しろくま企画(福島)・吉川肉屋(岡崎)
熊田秋男(高森)・飯塚静枝(善波)
大和田恵子(上粕屋)・山本祐子(愛川町)
笹原勉(板戸)・大久保里子(板戸)
神山幸子(秦野)・安藤雅代(板戸)
米屋きゃらぶき本舗(大山) 匿名2件

ご寄附者名簿(敬称略)

H28.10月分、
柳川千恵子 10,000円、
(株)ピースヒマラヤカトマンズ 5,000円

H29.1月~2月分
船橋茂紀 20,000円、N・N 3,000円、
梶田紀子 10,000円、金子みどり 3,000円

◆子ども食堂協賛金◆
匿名(4件) 5,129円、笹原 勉 10,000円、
廣田純男 10,000円

◆子ども学習支援協賛金◆
豊建設(株) 10,000円 N・K 150,000円
伊勢原ロータリークラブ(商品券) 10,000円

合計 246,129円 (28年度累計) 545,313円

ありがとう

ご協力ありがとうございました。